

9月7日：VN指数は上昇を維持できず反落（VN-Index -0.19%）

- VN指数は昨日の勢いを維持しつつ、大型株を中心に上昇して始まった。
- しかし、前日まで6日続伸と警戒感が高まっていたことで、利食い圧力に押された。大型株を中心に売りが広がり、指数を押し下げた。
- 後場には底値買いの勢力も現れプラスに転じる場面もあったが、前日と異なり勢いは弱く、売り方に押される格好となった。
- 前日終値を挟んでもみ合う場面もあったものの、引けにかけては利食い売りが広がった。
- 223銘柄が上昇、268銘柄が下落、83銘柄が変わらずだった。
- 流動性も前日から1.6%低下し、売買代金は24.7兆ドンだった。

VN30指数も下落（VN30 -0.38%）

- 大型株で構成するVN30指数も、上昇が11銘柄、下落が16銘柄、変わらずが3銘柄と売り優勢だった。
- 主にベトコムバンク（VCB、-0.8%）、ビンホームズ（VHM、-1.4%）、ビングループ（VIC、-1.3%）、ホアファット・グループ（HPG、-1.2%）、FPT（-1.1%）などの下落が目立った。
- 半面、ペトロベトナムガス（GAS、+1.4%）、ベトナムラバー・グループ（GVR、+1.8%）、テックコムバンク（TCB、+1.6%）などはしっかりだった。

セクター・個別株の動き

- サウジアラビアが原油の減産を決めたことや、アメリカの備蓄の減少予測などから世界的に原油価格の一層の上昇が予想され、石油・ガスセクターが買われた。ペトロ・ベトナムコーティング（PVB、+1.4%）、ペトロ・ベトナム・ケミカルサービス（PVC、+1.1%）、ペトロベトナム・ドリリング（PVD、+1.7%）、ペトロ・ベトナム・技術サービス（PVS、+2.5%）などが堅調だった。

- ダットスアン・グループ (DXG、+2.7%) の会長が同社株を 2,000 万株売却することを申請した。この目的は同社株を優遇金利で貸付け、3,000 億ドンの運転資金を増強することである。
- 外国人はホーチミン市場で 8,872 億ドンを売り越した。ホアファット・グループ (HPG、-1.2%) が最も売られ、SSI 証券 (SSI、-1.0%) が続いた。半面、買い越された銘柄はわずかだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。